

# イシガレイ（地方名：イシダガレイ、イシダマコ）



イシガレイの成長（年齢起算日は1月1日）

年齢	オス		メス	
	全長 (cm)	体重 (g)	全長 (cm)	体重 (g)
1	21	130	18	90
2	25	210	30	360
3	29	290	38	730
4	31	350	44	1,100

沿岸域漁業管理適性化方式開発調査最終報告書（1987）

## 生態

- 分布・移動：日本各地の水深100m以浅に分布します。福島県では、稚魚は松川浦などの内湾や水深15m以浅の砂浜に分布し、成長するにつれて水深15～100mの海域に移動します。
- 成熟・産卵：オスは2歳で全て成熟します。メスは2歳で70%、3歳で全てが成熟します。産卵期は12月で、産卵期には水深20～50mの海域に移動します。
- 食性：稚魚は多毛類が主体です。成魚はカニ、二枚貝の他、イカナゴなどの魚類を食べます。

## 漁獲の動向

平成22年の漁獲量は203トン、漁獲金額は1.4億円でした。

震災後、操業自粛と国による出荷制限のため水揚げはありませんでしたが、平成29年2月から試験操業が開始され、漁獲量は11.1～36.3トンで推移しています。令和4年の漁獲量は18.7トン、漁獲金額は9.6百万円でした。

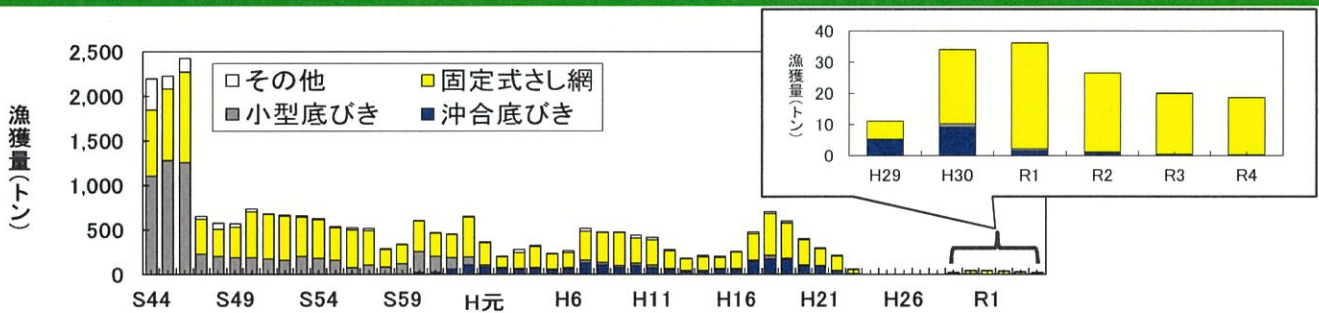


図1 イシガレイの漁業種類別漁獲量

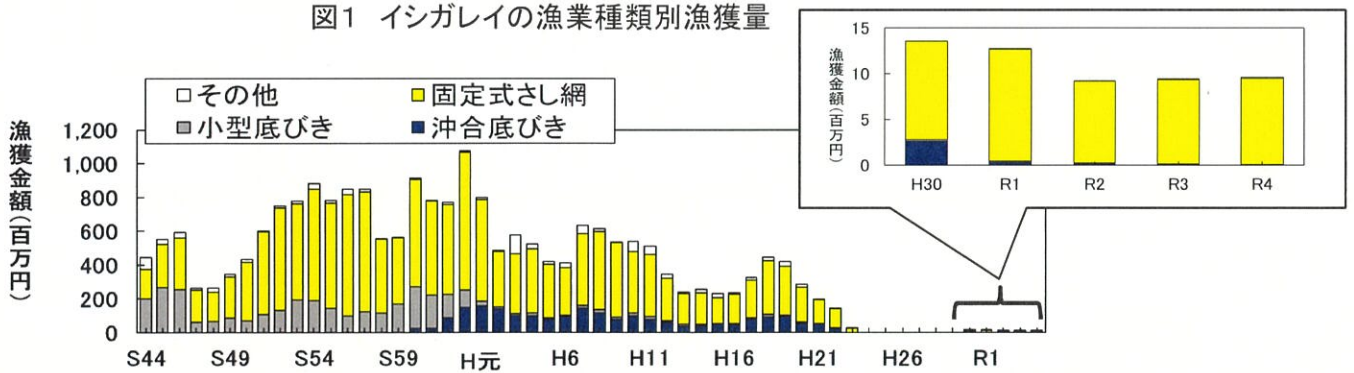


図2 イシガレイの漁業種類別漁獲金額

H29年は相対取引のため漁獲金額データなし

## 資源の状態

○調査船による分布密度調査結果から、平成30年級群の加入が良好でしたが、それ以降は加入は見られていません。

資源の水準：不明  
資源の動向：不明

## 現在実施されている管理策

特にありません。

## 今後考えられる管理策

小型魚は価格が安いいため、小型魚の保護が有効と考えられます。

産卵期には価格の低下がみられることから、産卵後の親魚を保護するなど、不経済な漁獲を控えつつ、親魚量を確保する方策は有効と考えられます。